

むらせ正臣 県政報告



発行

むらせ正臣事務所

公式webサイト <https://murase-m.com/>

〒483-8044 江南市宮後町砂場東177 ドムスシマC TEL 0587-22-6688



VOICE
01

(仮称) 新愛岐大橋関連の道進捗状況

令和11年度
完了予定

- ▶ 木曾川にかかる本橋については、橋台2基、橋脚14基が完成し、現在は上部工（橋桁）を3つの区間に分けて整備を進めている。（写真左下）
- ▶ 県道小渕江南線は、取付高架橋の下部が完成し、上部工（橋桁）の製作・架設工事に着手（写真右下）



VOICE
02

日光川江南遊水池の進捗状況

令和9年度
完了予定



護岸工事を施工し、今後は張ブロック工、越流堤工事を進めます。（容量：11,000m³）



VOICE
03

北尾張中央道（国道155号）の進捗状況

大口町内の愛岐南北線（県道小口岩倉線）との交差部は令和8年3月30日に開通。



令和8年度 愛知県予算概要

一般会計

3兆2224億4100万円

〔特別会計〕 1兆3558億20万2千円 〔企業会計〕 2572億5011万2千円
 〔合計〕 4兆8354億9131万4千円 (対前年比伸び率108.8%)

主な愛知県予算を参考にピックアップ

学校教育への保護者の経済的負担を軽減

356億6645万6千円

● 公立高等学校等就学支援事業

→ 142億9307万7千円

授業料の支援(いわゆる高校無償化)への取組
 生徒1人当たり(年額):118,800円(国3/4、県1/4)

● 公立学校給食費負担軽減補助金(新規)

→ 213億7337万9千円

学校給食費の負担軽減(いわゆる給食無償化)を小学校段階で実施
 児童1人当たり(月額) 小学校:5,200円(国1/2、県1/2)
 特別支援学校:6,200円(国1/2、県1/2)

● 中学校の少人数学級の拡大 → 12億8325万円

35人学級を中学2年生まで拡大

● 小学校における教科担任制の推進

→ 39億7849万9千円

専科指導教員(外国語・理科・算数・体育)を増員

私立学校の保護者に対する助成

425億1293万5千円

● 授業料軽減補助 → 312億1702万9千円

所得制限を撤廃 高等学校及び中学校 1人当たり(年額):457,200円

● 入学納付金補助 → 46億1434万円2千円

所得制限を撤廃し、愛知県独自で実質無償化
 高等学校(全日制)1人当たり(年額):200,000円

● 幼稚園授業料等軽減補助 → 24億2702万8千円

幼児教育の無償化 1人当たり(年額):322,200円(所得制限なし)

子ども貧困対策の推進への取り組み

107億1080万5千円

特別支援教育の充実

105億1123万7千円 ほかに債務負担 20億8306万3千円

● 小特別支援学校整備費 → 1億6803万4千円

● 医療的ケア実施体制の充実 → 6億9705万2千円

看護師の増員、通学支援など

介護人材の確保対策を推進

13億2214万5千円

● 福祉、介護人材確保対策費 → 4億5169万9千円

● 介護テクノロジー導入事業費補助金

→ 7億9291万6千円

中小・小規模企業力強化

1902億1716万4千円

● 中小・小規模企業の企業力強化等を支援するため、金融支援、経営支援、新分野進出・販路開拓への支援等

農業分野におけるイノベーション創出を推進

11億9695万5千円

● 農業イノベーション創出の推進、スマート農業機械の導入を支援し、農業生産力の向上

本議会一般質問

訪問介護サービス事業所と高齢者の孤独死の対策について

一般質問 令和7年9月定例会

むらせ正臣 質問 訪問介護の報酬減による影響の認識と、今後の事業所支援・人材確保の取組について伺う。

答弁 報酬のマイナス改定により、特に小規模事業所の経営悪化が懸念される。県では、法人間の業務共同化や合併支援による経営基盤強化、経営改善や人材確保への補助を実施している。あわせて、処遇改善加算の取得促進に向け、賃金や職場環境の整備支援、専門家助言などを行い、さらに国には報酬引上げを要望している。

むらせ正臣 質問 人手不足の中、DXを通じた事務負担軽減や業務効率化をどう進めるか伺う。

答弁 介護記録の音声入力や請求書類の自動作成など、ICT導入支援を進めてきた。さらに、相談センターで専門家の助言や機器貸出を行い、生産性向上を支援している。加えて、申請・届出のオンライン化を進め、来年度から原則すべての手続をオンライン化し、事務負担の軽減を図る。



むらせ正臣 質問 物価高騰下での医療機関支援と地域医療の維持をどう図るか伺う。

答弁 救急医療施設等への整備・運営支援や勤務環境改善に取り組むとともに、物価高騰に対して県独自の財政支援を実施している。あわせて、診療報酬の前倒し改定などを国に要請し、県の支援と国への働きかけにより地域医療の維持に努める。

医療機関の安定的な運営について

一般質問 令和7年9月定例会

むらせ正臣 質問 県立病院を取り巻く現在の経営環境をどのように認識しているか伺う。

答弁 コロナ関連補助金の終了により収益が減少する一方、人件費や材料費、委託費の増加により費用が拡大し、経営は悪化している。患者数は回復傾向にあるものの、診療報酬は物価・賃金上昇を十分に反映しておらず、改定も限定的であるため、増加するコストを賄えない厳しい状況が続いており、今後も物価高騰の影響によるさらなる悪化が懸念される。

むらせ正臣 質問 各病院の収支目標の達成状況と、今後の経営改善の取組はどうか伺う。

答弁 中期計画では黒字化を目標としていたが、物価・賃金上昇の影響により全病院が赤字となり、目標は未達となった。一方で、手術支援ロボットの導入や小児重症患者への対応、精神科救急の24時間化など、高度・政策医療の充実を図り中核的役割は維持している。

今後はこうした医療提供を継続しつつ、業務見直しや効率化によるコスト削減などにより経営改善を進めていく。



むらせ正臣 医療法人の経営状況をどのように把握・分析しているか伺う。

答弁 医療法に基づく事業報告書により経営状況を把握しており、2024年度は赤字法人の割合が増加するなど、経営環境の厳しさが顕在化している。

また、国が開始した医療機関ごとの収支分析制度の結果も今後活用し、地域医療の実態把握を一層進めていく。

むらせ正臣 物価高騰の中での医療機関支援と地域医療の維持をどのように図るか伺う。

答弁 救急医療施設や災害拠点病院、周産期医療への支援や勤務環境改善などにより地域医療体制の確保に取り組んでいるほか、物価高騰に対しては県独自の財政支援も実施している。

一方で、こうした対応は本来国が担うべきとの認識のもと、診療報酬の前倒し改定や全国的な支援制度の創設を国に要請しており、今後も県の支援と国への働きかけを両輪として、地域医療の維持・確保に努めていく。



県職員の働き方改革について

一般質問 令和7年12月定例会

むらせ正臣 県警察における窓口業務の受付時間短縮の取組について、その導入の経緯や効果、今後の本格運用に向けた考え方を伺う。

答弁 県警察では、時間外勤務の縮減を目的として、一部窓口で受付時間の短縮を実施した。

運用開始から約8か月で大きな混乱はなく、県民の理解も得られており、時間外勤務の縮減など一定の効果が確認されている。

今後は、効果や影響を検証しながら本格運用を検討し、利便性と業務効率化の両立を図っていく。

むらせ正臣 庁内のコミュニケーション活性化や業務効率化、働きやすい執務環境の整備を進める観点から、フリーアドレス導入の成果と今後の展開について伺う。

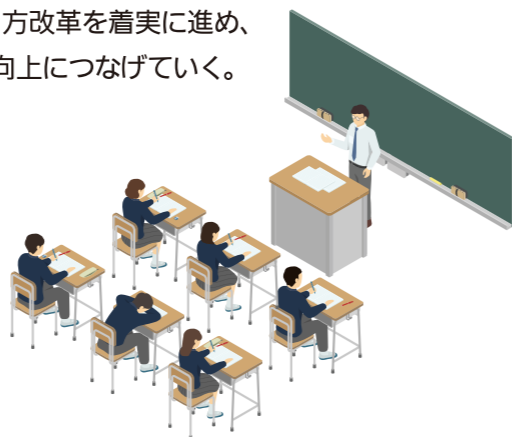
答弁 フリーアドレスは、現在12所属で導入されており、相談のしやすさや部門間の交流促進など、コミュニケーションの活性化や業務の円滑化に効果が見られている。今後は、「あいち行革プラン2025」に基づき、新庁舎や庁舎改修にあわせて導入を拡大し、働きやすい執務環境の整備を進めていく。

むらせ正臣 教職員の働き方改革について、給特法改正を踏まえたロードマップの見直しの方向性とあわせて、校門の開閉業務の見直しや実務的業務の負担軽減など、教員が本来業務に専念できる環境整備の取組について伺う。

答弁 教職員の働き方改革については、給特法改正を踏まえ、業務量管理や健康確保に関する計画を策定するとともに、教師の業務を3分類し、教員が本来業務に専念できる体制づくりを進めていく。

校門の開閉については、用務員等が担う方向で周知を進めるほか、文書の電子化やクラウド活用、補助スタッフの配置などにより、教員の負担軽減を図っていく。

今後も、働き方改革を着実に進め、教育の質の向上につなげていく。



スポーツ振興について

一般質問 令和7年12月定例会

むらせ正臣 IGアリーナ等の新施設を活用し、大規模スポーツ大会の誘致や地域活性化を図るべきではないか。

答弁 アジア競技大会後も、国際・全国規模の大会やイベントを誘致し、施設を効果的に活用することで大会成果の継承を図る。フィギュア大会やBリーグオールスター開催などを通じて魅力発信を行い、市町村等と連携して地域活性化を推進していく。



むらせ正臣 大会機運を高めるため、段階的・多層的な広報をどう展開するか伺う。

答弁 これまでイベント等で集中的なPRを実施しており、今後は競技日程発表やチケット販売に合わせ、SNS発信を強化



する。あわせて応援IDの登録促進や空港・主要駅での装飾を行い、県民の機運醸成と来場促進につなげる。

むらせ正臣 大会レガシーを次世代へ継承するため、次期スポーツ推進計画をどう検討するか伺う。

答弁 現行計画を検証しつつ、県民アンケートや有識者の意見を踏まえて次期計画を策定する。スポーツ参加環境の整備やイベント誘致、ボランティアの継承などにより、大会で高まった関心を持続させ、地域活性化につなげる方針。

県民環境委員会一般質問

太陽光パネルについて

一般質問 令和7年9月定例会

むらせ正臣 太陽光パネルは、反射光などの問題に加え、2030年代後半の大量廃棄や不法投棄が懸念されている。本県も将来的な大量廃棄も想定されるが、その処分に必要な産業廃棄物最終処分場の能力は確保されているのか伺う。

答弁 国の推計では、使用済み太陽光パネルは2042年にピークを迎え、県内では約2万トンの排出が見込まれる。このうち最終処分場で埋立てられるのは約3,500トンで、県内産業廃棄物の年間埋立量の約0.5%にあたり、リユースやリサイクルの進展も踏まえると処分場の能力で対応可能と考えられる。

むらせ正臣 太陽光パネルの廃棄量は鉛・セレン・カドミウムなど有害物質を含む場合もあるため、管理型最終処分場での適正処理が可能なのか、また適正処理の確認をどのように行うのか伺う。

答弁 廃棄物処理法では、契約書やマニフェストにより廃棄物の性状を確認した上で最終処分場に受け入れる仕組みとなっている。処分場では水質測定などの基準が義務付けられ、県も立入検査等で確認しており、違反があれば行政指導や処分に対応している。

むらせ正臣 国はリサイクル義務化を見送ったが、本県として条例やガイドラインで義務付けが可能か、今後の対応方針について伺う。

答弁 太陽光パネルのリサイクル義務化は国が検討中のため、県独自の条例制定は考えていない。今後は国の制度設計を注視するとともに、県のサーキュラーエコノミー推進プランに基づき、事業者と連携して太陽光パネルの循環利用を進めていく。



あいち女性輝きカンパニー認証取得促進事業費について

一般質問 令和8年2月定例会

むらせ正臣 質問 「あいち女性輝きカンパニー」の認証件数は現在何件で、最新の認証更新率はどのようになっているか伺う。

答弁 あいち女性輝きカンパニーの認証件数は、2026年3月1日現在で2,056件となり、「あいち男女共同参画プラン2025」の目標である2,000件を達成した。一方、更新率は83.6%で、2024年度の86.2%から2.6ポイント低下している。

むらせ正臣 質問 この事業を通じ、県内企業の女性活躍を促進するため、本県としてどのように取り組んでいくか伺う。

答弁 県ではこれまで、「あいち女性の活躍促進プロモーションリーダー」を委嘱し、取引先企業への働きかけなどにより女性活躍の取組を支援してきた。来年度は新たに、金融機関（名古屋銀行、碧海信用金庫）と連携し、行員研修や企業向けセミナーを実施して認証取得を促進するほか、認証企業や金融機関との異業種交流会を開催し、認証後のメリット共有やフォローアップを行うことで、県内企業における女性活躍のさらなる推進を図る。

そのほか、ツキノワグマ対策について（令和7年12月定例会）も質問しました。

議案質疑

空家対策推進事業費について

令和8年2月定例会

むらせ正臣 質問 県として来年度、あいち空き家活用広域マッチングプラットフォームの利用促進をどのように図っていくのか伺う。

答弁 県は今年度、空き家活用プラットフォーム創設に向けて、市町村との連携体制の構築や専門家による相談窓口の開設、PR動画・ポスター・チラシの作成などに取り組んだ。一方で、相談対応が平日昼間に限られることや掲載希望が少ないことが課題であるため、来年度はAIによる24時間相談対応やSNS等を活用した情報発信を進める。また、市町村や関係団体との連携を強化し、空き家の掘り起こしや空き家バンク登録を促進することで、マッチングの拡大を図る。

給食負担軽減について

令和8年2月定例会

むらせ正臣 質問 県内54市町村のうち、小学校給食費の月額が国の基準額5,200円を超えている自治体数とその割合についての県の把握状況を確認するとともに、基準額5,200円を超える給食費の部分がどのように扱われるのか伺う。

答弁 県内54市町村のうち、2025年度に小学校給食費が国の基準額5,200円を上回っている自治体は22市町村で、全体の約4割となっている。また、基準額を超える部分については、引き続き保護者から徴収することが可能であるが、市町村の判断により公費で補助することも考えられる。県教育委員会は来年度、実態調査を行い市町村の状況を把握する予定である。



地域でのお悩みやまちづくりに関するご要望など、何でもお聞かせください。皆様のご意見、ご要望を一緒になって考えて、政策として反映してまいります。

愛知県議会議員 **むらせ正臣** 事務所

〒483-8044 江南市宮後町砂場東177 ドムスシマC
TEL 0587-22-6688 FAX 0587-54-6340

